

代表質問通告表

令和8年第2回始良市議会定例会（7月3日）

【代表質問】	1. あいら敬愛会 岩下 陽太郎	
1. 自立して「稼げるまち」への進化について	市長の所信表明で語られた、ベッドタウンからの脱却と人口減少・人材不足のアプローチについて、以下の内容を問う。 (1) 産業振興や雇用創出について、具体的にどのような職種・産業の企業誘致、または起業支援に注力する予定か。 (2) 市民のウェルビーイングへの関心の高まりを受けて、「食と健康」「農業と福祉」「自然と観光」「運動と予防医療」「地域資源と学び」「多才な能力を持つ人材の発掘」などを所信表明で語られているが、具体的な施策や事業等を示せ。 (3) これまで本市で取り組んできた産業振興策と比較して、どのように変化していくのか。 (4) 人材確保・人材流出の観点から、若者や現役世代が市外へ流出するのを防ぐ対策をどのように講じるのか。具体的な内容を示せ。 (5) 本市でも医療・福祉や建設等の現場を支える人材の確保が急務であるが、行政としてどのように利害関係者に寄り添うのか。 (6) 市民の健康増進（ウェルネス）への投資が、地元の食や産業を活性化させ、新たな雇用を生み出し、「健康と経済の好循環」を作るとしているが、具体的な事例等を示せ。 (7) 市長が考える地域経営とは、「市民が健康になれば、まちのコストが減り、地元企業が儲かり、税収が増えて、さらにまちが良くなる」というビジネスモデルを市長がトップとして戦略的にデザインし、実行していくというイメージで相違ないか。 (8) 現時点で、ウェルネスや地域経営の牽引役となってくれる医療機関、大学や研究機関、地元の金融機関や起業家の方々、民間事業者、農業・福祉関係者との連携のイメージを示せ。	市 長 教育長
2. 子どもたちの未来を拓く教育について	市長の所信表明において、力強く語られている「未来を担う子どもたちに世界とも対等に渡り合える力を持ってもらいたい」ということについて、以下の内容を問う。 (1) S T E A M教育の推進をしていく決意を所信表明で述べ	市 長 教育長

3. 行財政改革について	られたが、導入に際し、どのようなインフラ整備や環境構築が必要となると考えているか。また、予算等はどのように考えているのか。 (2) S T E A M教育は専門性が高いとされており、既存の教員だけで指導するには困難であると言われている。教員の多忙化が進む中で、人材の確保についてはどのように考えているのか。 (3) 世界レベルでの教育環境を整えるためには、大学や民間企業等とも連携が必須であるとするが、連携先などをイメージできているのか。 (4) 最終的なゴールとして、どのような人材を育成し、どのような企業に就職もしくは起業してもらうことを考えているのか。そのイメージはあるのか。 (5) 教育機会の平等性の観点から、学校だけでなく、不登校支援事業団体やフリースクール、地域の放課後の子どもに関する事業などにも広げていく考えはあるのか。 (6) 特別支援学校の誘致について、これまでの経緯と今後について示せ。また、市長が代わったことに伴い、動きに変化が出るのか。 (7) 現在、建設中の始良市新学校給食センターをはじめとする給食調理施設において、有機農産物や有機食材の利用・活用は可能なのか。 所信表明において、市役所自身も大きく変わらなければならないという言葉もあるように、行財政改革も重要な位置づけとなっている。そこで、項目ごとに内容を問う。 (1) 財政マネジメントの健全性と歳入・歳出の適正化について ①経常収支比率の改善状況に対する見解を問う。 ②社会保障関係経費や公共施設維持費等が増加する中で財政の硬直化に対する見解を問う。 ③自主財源の確保について、ふるさと納税や市税の的確な徴収など、独自の財源確保が急務であるとするが、見解を問う。 ④市長が代わったことに伴う補助金の見直しや適正化について、行われるのか。また、費用対効果の観点から、不要な補助金の統合・廃止や見直しを行う予定があるのか。	市 長 教育長
---------------------	---	--------------------

	(2) 公共施設等の適切な維持管理と民間活用の推進について ①公共施設再配置基本計画などに基づき、インフラ施設や建築物の統廃合・長寿命化を計画どおり進めていくのか。進捗状況を示せ。 ②施設の維持管理や事務事業において、民間委託や指定管理者制度の導入を行ってきているが、今後も推進していくのか。 (3) デジタル化による事務効率化と組織・定員の最適化について ①行政DXと手続きのオンライン化について、自治体情報システムの標準化、マイナポータルを通じたオンライン申請、AI・RPAの導入による業務時間削減の成果について述べよ。 ②組織のスリム化と定員管理について、現在適正な人員配置を行い、職員の意識改革を促しながら、最小の経費で最大の効果を上げる簡素で効率的な組織を構築できているか、見解を問う。	
【代表質問】 2. 公明党始良市議団 竹下 日出志		
1. 所信表明について	(1)「災害からの復旧・復興を最優先に市民の命と暮らしを守るまちづくり」について ①地域のつながりの核である自主防災組織の状況及び今後の課題と対策を問う。 ②防災タイムラインの普及として、個人向けと地域向けをどのように考えるか。 ③大きな災害に備えてTKB（トイレ、キッチン、ベッド）配備など推進する考えはないか。 (2)「子どもたちの未来を拓く教育と子育て支援」について ①STEAM教育のメリットと期待される効果や課題を問う。 ②特別支援学校の誘致実現に向けた具体的な取組。 ③不登校対策を家庭や地域全体で支え、行政がしっかり伴走する本市の対応を問う。 ④熱中症から児童を守るため、小学校の保冷グッズ用冷凍庫を配備できないか。 また、児童にも使いやすい自動洗浄機付きの「水道直結式冷水機」などを設置する考えはないか。	市長 教育長

	(3)「食と農を生かした健やかな始良づくり」について ①学校給食に地元食材や有機農産物を活用したオーガニック給食をどのように推進する考えか。 ②「健康食の聖地・始良」として「煮しめグランプリ」の作品を商品化して広く全国へと発信する考えはないか。 (4)「始良市ならではの人と産業を育てる地域経済の循環」について ①健康で心豊かに暮らしたいという時代にウェルネス、病気を未然に防ぐ「未病」への対応をどのように考えるか。 ②高齢者の社会参加を支援するため、補聴器購入費を助成する考えはないか。 また、聞こえにくさのある市民の窓口対応に、軟骨伝導イヤホンを導入できないか。 ③本市のファンである関係人口、交流人口を増やすため、「健康と経済の好循環」をつくるパンフレットを作成する考えはないか。 また、市長が目指すウェルネスを内外に発信するために、産官学・官民協働でイベントを実施する考えはないか。	
【代表質問】 3. みらい始良 小山田 邦弘		
1. 市長の所信と市政運営について	(1) 始良市の将来像について 所信表明の中でウェルネスを軸とした市政の経営、運営が示されたが、市の具体的な将来像、イメージを示せ。 併せて、その目標（像）は何を持って達成と判断できるのか、そのゴール（状態）を示せ。 (2) 将来像を具現化する課題について 目標像の実現には数多くの課題も想定され、時間も要すると思われる。まずは現在の各種施策とウェルネスという概念の整合性を図ることが重要だと思われるが、課題解決に向けた道筋をどのように考えているか。 近く示される予定の第3次始良市総合計画においては、ウェルネスを中心にした新たなまちづくりが示され、具体的な事業が明示されるものとの認識で良いか。また、現在の総合計画やそれに基づくまちづくり施策をどのように評価しているか。 (3) 施策の具体化と運営について 4つの柱のうち、第1の柱である災害対策は喫緊の課題であり、最優先で取り組まなければならない、いわゆる must	市長

	要件（やらねばならないこと）である。これに対して他の3つの柱は市長の will 要件（今後やりたいこと）であり、丁寧な説明と具体性をもつ必要がある。それぞれにシンボルとなる事業施策が必要だと考えるが市長の認識を示せ。 一方で、市長は行財政改革について「やめるものはやめる、続けるものは続ける、というようなことを早くやっていきたい」と発言されている。具体的にやめることを検討しているものがあれば示せ。 （４）対話を重視する政治姿勢について 所信表明において随所に対話を重視される姿勢が語られている。このことは市民も議会も共感するところであるが、具体的にはどのような対話の機会（場）を想定しているか。どのようなことをすれば「市民に一番近い市長」になれると想定しているか。	
【代表質問】 4. 市政クラブ始輝 宇都 陽一郎		
1. 選挙公約と所信表明について	市長は、鹿児島県内初の女性首長と注目されている。また、鹿児島県議会議員を5年務め、その後に県知事選挙に出馬したという経歴もある。注目はもちろんのこと市民の期待も大きいと思う。そこで、選挙公約と所信表明で述べた4つの柱を中心に以下を問う。 （１）「災害からの復旧・復興を最優先に市民の命と暮らしを守るまちづくり」について ①2025年8月に発生した豪雨災害は、過去経験したことのない規模の災害だったが、どのように受け止めているか。 ②市民は早期の復旧・復興を求めているが、今後 どのような対応を検討しているか。 ③選挙公約の中に災害時の安心と平時の交流拠点として「防災道の駅」を検討するとある。また、所信表明でも「災害に強いまちづくり」と述べている。まだ道の駅がない本市にとって、市民からも道の駅の要望は大きい。防災機能が付くとなるとさらに市民は喜ぶと考える。「防災道の駅」への市長のビジョンと「災害に強いまちづくり」への見解を問う。 （２）「子どもたちの未来を拓く教育と子育ての支援」について ①こども家庭庁を創設して始まった「こどもまんなか社会」	市長 教育長

	の政策についての見解を問う。 ②これからの時代に通用する子どもたちを育成することを意味すると考えるが、どのような教育環境を検討しているのか。 ③「特別支援学校の誘致」について、誘致だけではなく本市において卒業後の雇用創出までサポートできる体制を組み合わせて提案できると良いのではと考えるが、「特別支援学校の誘致」への市長の見解を問う。 (3)「食と農を生かした健やかな始良づくり」について。 ①市長は、有機野菜を給食に取り入れたいという「オーガニック給食」を表明している。本市でも令和7年2月に「オーガニックビレッジ宣言」を行っている。市長が推進する「ウェルネス」とも関連があると考え、が、「オーガニック給食」と「オーガニックビレッジ」への見解を問う。 ②本市の有機農業を含めた農業全般と特産品の現状をどう捉えているか。また、今後どのように展開したいと考えるか見解を問う。 (4) 選挙公約の中に「全天候型市民プールの検討」とある。子どもから高齢者まで利用できて、健康増進にもつながると考える。 ①この件も含めて、現在市内にある公民館や加音ホール、温泉施設などの公共施設の今後の維持管理への見解を問う。 ②学校プールの老朽化が進んでいる。また、学校プール施設を廃止する自治体も増えてきている。市民プールと学校プールを関連付けて調査・研究する意向はないか問う。 (5) 高齢者目線で生きがいを持ち安心して暮らせる政策として、「ライドシェアと買い物支援」が公約にある。今後、本市でも高齢者の割合が増加していく。免許を返納した際、買い物や通院が不便になる。現在でも、不便さを感じている市民は多いが、今後の地域交通はどうあるべきか見解を問う。	
--	---	--

個人質問通告表

令和8年第2回始良市議会定例会（7月3日）

【個人質問】	1. 萩原 哲郎	
1. 白銀坂トイレ設置・市内の観光対策について	白銀坂登山道は、国土交通省の「歴史国道」に選定され、平成18年7月に国指定史跡に指定された。 平成8年から15年まで8年かけて、始良町教育委員会が国、県の補助金を受けて、補修整備事業費（約7,600万円）をかけて事業を整備した。 平成10年2月国土交通省より、脇元地区に駐車場及びトイレが設置され供用開始された。 平成24年に霧島錦江湾国立公園に指定され14年が経過している。 国土交通省では、白銀坂中腹は土地も狭く、施設管理もできないので、山頂の吉田側にトイレをつくる案があり、建設の手法などは地元の鹿児島市の判断にゆだねるとの経緯があった。用地については企業が無償提供するという提案もあったが話は立ち消えとなっている。 立ち消えとなった理由としては、平成8年当時、旧吉田町、現在の鹿児島市において、上下水道の整備がされていない場所で、維持管理などの観点も含め、トイレ設置は困難であるとの判断に至った。 以下について問う。 （1）白銀坂登山道は、令和7年8月に発生した記録的な集中豪雨により甚大な被害を受けた。 国の史跡に指定文化財としての価値を損なわないよう非常に慎重な工法で復旧工事が進められていくと思うが、崩落などの復旧に向けた工程及び工事期間について問う。 （2）工事期間中は、工事用のトイレが必要になると思うが、設置場所はどこになるのか問う。 （3）登山・観光・体力増進を含めトイレの必要性は高い。 私たちは、令和7年第1回定例会以後、白銀坂登山道「鹿児島市側」にトイレ設置の署名運動を行っている。 白銀坂登山道は、「J Tの森 重富」付近を含め一周すると約3時間から4時間かかり、トイレが必要である。ほと	市長 教育長

2. 道路改善対策と整備計画について	んどの方々がトイレは必要であるために、設置を望む多くの賛同を得た。現在、380名の署名が完了、500名集まり次第、鹿児島市へ白銀坂登山道「鹿児島市側」にトイレ設置の要望に行く考えであるが、始良市も以前のように鹿児島市にトイレ設置の要望協力できないか問う。 (4) 以前、記録的な集中豪雨により甚大な被害を受けた布引の滝観光道路は、整備終了後再び崩落被害を受けた。今後の工事内容・予定を問う。 (1) 令和3年3月に桜島スマートインターチェンジ上り線入り口が開通し、同インターチェンジ各方面への全ての出入り口が利用可能となった。5年が経過し利用者も増えたが、始良ニュータウン側からの上り方面のアクセス道路は狭く、多くの市民から道路整備が必要との要望がある。 始良市は現在、多くの住宅建設が進んでいる。 住宅が建設されてからは交渉が難しくなる。 桜島スマートインターチェンジからの経済効果、緊急医療、災害時の輸送路の確保、通勤・物流の利便性向上、企業誘致、交流人口、観光など経済効果は大きいと思う。 利用者の利便性を図るため、今後の道路整備計画を問う。 (2) 県道十三谷重富線、始良ニュータウン入口交差点から高速道路までの間は、急勾配でカーブがあり、見通しも悪く、交通量も多い。 下りの車は、スピードが落ちないまま急カーブに進入することとなり近隣住民が住宅から道路へ出る際、大変危険である。 平成27年の質問で、森山交差点の工事については、平成27年度に完了後、全体的な整備動向を勘案しながら要望していくとの答弁を受け、平成23年6月から今まで度重なる質問を行ってから15年が経過している。 3年前にも「スピード落とせ」の減速路面標示を書き直すとの答弁であったが、現在も「スピード落とせ」の路面標示や中央線も見えかかり非常に危険である。 当該箇所が急カーブであるため、内側を削る等して直線道路への改良が必要だと考えるが見解を問う。 また、毎年地主が前の県道草刈りを行い大変であると聞いている。何とかならないかと相談を受けたが考えを問う。 (3) 始良ニュータウンは、造成以来47年が経過し、道路に傷みの酷い箇所が多く見られる。パトロールは毎年実施	市 長
---------------------------	--	------------

3. 西始良小学校児童対策について	しているのか。パトロールを行い、傷みの酷い所から整備できないか問う。 西始良小学校の最高児童数は平成8年度456名であったがその後、児童減少が進んでいる。 令和8年度の児童数は139名であり、児童数が最多であった平成8年度と比較すると、317名の減で約7割減少している。 今年度の新1年生は25名の入学だった。 重富小学校・始良小学校の児童数は、年々増えつつあり、教室が足りない状況でありプレハブ増築の時期に来ているが、3～4年後は、人口減少に突入する。 今後の児童数の見直し・校区の見直しをどのように考えているのか問う。	市 長 教育長
4. 始良市の駅舎について	始良市内に5駅あるが4月1日から加治木駅を最後にすべての駅が無人駅になった。 (1) 人口が増加している始良市で、加治木駅が無人駅になった理由を問う。 (2) 始良市内にある5駅の乗降者数を問う。 また、無人駅になる基準はあるのか。 (3) 無人駅になったために、「定期券・新幹線切符などの購入が、近隣の霧島市・鹿児島市まで行かなくてはならなくなった」と市民から困惑の声が寄せられている。何とか地元で購入できる方法はないか問う。	市 長